

第5学年 総合的な学習の時間（英語活動）指導案

津山市立鶴山小学校

1 単元名 「〇〇は好きですか?」「Do you like 〇〇?」「Yes, I do.」「No, I don't.」

2 単元の目標

- ・友だちと積極的に好き嫌いを伝え合う。
- ・英語で自分の好き嫌いを相手に伝える。

3 単元の指導・評価計画（3時間扱い）

時数	学習内容	評価規準	言語材料
1	〇〇（動物の名前）は好きですか。	友だちと積極的に好き嫌いを確認し合う。	Do you like 〇〇?
2	〇〇（スポーツの名前）は好きですか		Yes, I do. No, I don't.
3 本時	〇〇（動物・スポーツ・食べ物の名前）は好きですか。 自分の好きなものを紹介し合おう。	英語で自分の好き嫌いを相手に伝える。 自分の好きなものを含めて、自己紹介をする。	Hello. My name is Mai. I like baseball. Do you like 〇〇? Good-bye.

4 単元設定の理由

本単元は、これまでに学習した「自分の名前」に、「自分の好きなもの」を加えた自己紹介をすることを最終のゴールの活動とする。

好きなものは、児童にとって身近な動物、スポーツ、食べ物、飲み物に限定する。扱う単語については、児童が既に触れたことのある語を取り上げるが、児童によっては、テキストでは取り上げていないものが好きだという場合があるので、個別指導等により、それらもできるだけ取り上げるようにすることで、児童の「伝えたい」という気持ちを大切にしたい。

また、友だち同士で互いの好きな物や事柄について情報交換することで、互いの理解を深め、良好な人間関係作りにもつなげたい。

5 児童の実態

本学級の児童は男子15名、女子13名の計28名である。今年度より、総合的な学習の時間の中で、ALTと毎週1時間の英語活動を行ってきている。本時が、5年生になって16時間目の英語活動の時間である。ただし、ALTの先生が不在で授業を行うのは、この日が初めてである。7月に実施した「英語活動についてのアンケート」では、「英語活動が好きですか。きれいですか?」という問いに21名が「とても好き」または「好き」と答え、7名が「あまり好きではない」「きれい」と答えている。英語活動を楽しみにしている児童が多いものの、恥ずかしさや自信のなさから発表の声が小さくなりがち傾向が強い。活動の形態や活動内容を工夫しながら、大きな声でコミュニケーションができるようにしたい。

6 研究主題との関連

「気持ちや考えを豊かに伝え合う学び」を実現させるために、定着のためのゲームを多く取り入れることで、児童が楽しみながら、繰り返し会話し自信を持って発話できるようにしていきたい。また、友だち同士で尋ね合う場面を取り入れ、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てたいと考える。このような活動の中で、児童が指導者や自分たちの好みに触れ、それをきっかけに、自分の好きなものを伝えたい、また友だちの好きなものをもっと知りたいたい、より積極的にコミュニケーションを図れるようにしていきたい。

7 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・相手に好き嫌いを尋ねる。
- ・相手の好きなものや嫌いなものを聞いて分かる。
- ・自分の好きなものを含めて、簡単な自己紹介をする。

(2) 本時案

学習過程	児童の活動	HRT	評価(※)・準備物
1 Greeting (1分)	あいさつをする。	・ Hello again. Let's start English Class.	ネームカード
2 Song (5分)	リズムに合わせて歌う。 友だちと積極的に好き嫌いを伝え合おう。		フラッシュカード パソコン スマートボード
3 Review (5分)	既習単語を使ってビッグボイスゲームやキーワードゲームをする。	前時の新出単語の復習をする。	プロジェクター CD ラジカセ CD
4 Main Topic (13分)	会話の場面設定について知る。 教師に続いて“Yes, I do.” “No, I don't.” などの答え方の練習をする。 自分の好みにあわせて練習する。教師の質問に対し、好きなら“Yes, I do” 嫌いなら“No, I don't” と答える練習を行う。 教師に続いて“Do you like~?” の尋ね方の練習をする。 ○×ゲームや質問ゲームを通して“Do you like~?” “Yes, I do.” “No, I don't.” の会話練習を繰り返す。	給食での会話場面を設定する。コンテンツで使う写真などは本人に事前に話し、了解を得る。 “Do you like~?” の意味を日本語で訳さず、直感で理解できるように会話の場面提示を工夫して行う。 自作コンテンツを使い、テンポよくやりとりを示すことができるようにする。変化のある繰り返しを工夫し、楽しく練習する中ですらすら言えるようにする。	英語ノート 英語ノート付属 CD
5 Practice (3分)	英語ノート P.26 のリスニングを行う。CDを聞いて、好きなものには○、きらいなものには×を書いて表を完成させる。	リスニングでは成功体験を得られるよう工夫する。	※友だちと積極的に好き嫌いを確認し合う。
6 Game (13分)	英語ノート p.28~29 を使って、質問ゲームをする。2人組を作り、お互いに質問しあう。 ・ Hello. (Hello.) ・ My name is ○○. (My name is □□.) ・ I like baseball. Do you like baseball? (No, I don't) ・ (I like apples. Do you like apples?) Yes, I do. ・ Good-bye. (Good-bye.)	□の中には自分の好きなものを絵で描かせる。教師が実際に描いてみせ、簡単な絵でよいことをわからせる。 2人でペアを組んで、で活動させる。教室を自由に歩いてやりとりをさせる。発話が苦手な子どもとの会話を行い、励ます。	※相手の好きなものや嫌いなものを聞いて分かる。(Listen) ※ 英語で自分の好き嫌いを相手に伝える。
7 Today's Review (4分)	今日の復習をする。	グループや個人で会話をさせ、本時の学習を復習させる。	※ 簡単な自己紹介ができる。
8 Good-bye (1分)	あいさつをする。	・ That's all for today.	

Lesson 4
I like apples.
自己紹介をしよう

Let's Listen
CDを聞いて、だれが何を好きなのか、線で結ぼう。

Lesson 4
Let's Play
キーワードゲーム
外来語と英語との音のちがいに注意して、ペアでやってみよう。

Let's Chant
①リスムに合わせて言ってみよう。
②慣れてきたら言葉をかえて言ってみよう。
Do you like apples?

Lesson 4
Let's Listen
CDを聞いて、好きなものには○を、きらいなものには×を書いて表を完成しよう。

好きなもの			
名前 (NAME)			
KEN			
MAI			
EMI			

【リスニング】
5人が自己紹介をする。それぞれが好きなものを聞き取り、線で結ぶ。

【キーワードゲーム】★
単語を使ったゲーム。消しゴム1個あれば簡単にできる。

【チャンツ】
“Do you like~?” のチャンツ

【リスニング】★
2人での会話を聞き取り、KEN、MAI、EMIがそれぞれのものについて好きかどうかを○×で記入する問題。

Lesson 4
Activity ①
先生や友だちの好みを予想して、好きかきらいかを考えよう。

先生や友だちの好きなものを書こう。

Lesson 4
Activity ①
自分の好きなものをかき、友だちに好きかきらいかを聞いて、下に書こう。

好きなもの	友だちの名前
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

Lesson 4
Activity ②
名前や好きなものを書いて、自己紹介をしよう。

あいさつしよう。

①

自分の名前を書こう。

②

好きなものを書こう。

③

あいさつしよう。

④

【アクティビティ】★
教師がALT (あるいは子ども1人)に“Do you like~?”と尋ね、その答えを予想する活動。2回目は全員でALTに質問する。

【アクティビティ】★
教室を歩き、2人組でやりとりをする。相手が“Yes~”と答えたら、○のところに、相手が“No~”と答えたら×のところに名前を書く。

【アクティビティ】★
一人ずつ自己紹介をする活動。あいさつ、名前、好きなもの、あいさつの順で行う。※本時では、会話形式で扱うため、別紙カードを使用する。

(★は本時の授業で扱う内容)

5 年 英 語 活 動 案

玉 野 市 立 宇 野 小 学 校

- 1 テーマ 『 スクールウォッチング 』
 ①外国の子どもたちの時間割や教科書を調べよう。
 ②教科の言い方を知ろう。

目 標		活 動 Activities		
Procedure	Children	HRT	ALT	評価☆ 準備物・
Warm-up		始まりのあいさつをする。 Let's sing "Swimming Swimming" 絵カードを見せながら、5つのめあてを確認する。	子どもとあいさつをする。 子どもと一緒に歌う。 子どもの歌を聞いた後、一言称賛する。	①Swimming Swimming ・めあてカード
1 あいさつをする。 2 「Swimming Swimming」を歌う。 3 5つのめあてを確認する。		・ Eye Contact (相手の目を見る) ・ Listen Carefully (しっかりと聞く) ・ Big Voice (大きな声で話す) ・ Big Smile (笑顔いっぱい) ・ Big Gesture (動作をつけて)		
Practice1		*ALT のスピーチの前に、簡単に内容の説明をしておくことで子どもたちが話に集中しやすかったり、理解しやすかったりするようになる。 Let's listen to Stephan.	ドイツの小学生が勉強する教科や ALT が好きな教科などを紹介する。 *内容を推測しやすいように、くり返し発音したり、ジェスチャーを加えたりしながら話す	
Practice2		子どもたちが自信をもって言えるよう一緒に発音したり、ALT の発音をよく聞いて、発音しようとしている子どもをほめたりして、場の雰囲気を盛り上げる。 Japanese, social studies, math, science, music, arts and crafts, P.E., home economics, English	子どもたちが口形やイントネーションに気をつけながら聞くことができるように、はっきりとわかりやすく発音する。 ゲームのやり方を説明する。	・教科のカード (大) ☆ALT の発音をよく聞き、まねをしながら発音しようとしていたか。 ・英語ノート ☆楽しくゲームに参加したか。
Practice3		インタビューゲームの説明をし、デモンストレーションをする。 A : Hello. B : Hello. A : What subjects do you like? B : I like P.E. How about you? A : I like music. B : Thank you. See you. A : Thank you. See you.	*全員の子どもが ALT と会話できるように、グループごとに ALT のもとへ行けるように時間を割り振る。 *子どもたちとゲームしながら、戸惑っている子どもの支援をする。	・ゲームカード ☆楽しくゲームに参加したか。 ☆進んでたくさんの人とコミュニケーションを図ったか。
Feedback		ふりかえりカードを書いたあと、感想を発表させ、本時の活動を振り返ることにする。 How was today? Good job.	今日の感想を簡単に英語で話す。 終わりのあいさつをする。	・ふりかえりカード
8 ふりかえりカードを書き、本時の活動をふりかえる Good job. 終わりのあいさつをする。				

Friends Card

名前 ()

月 日 () 今日のテーマ

好きな教科はなに？

A	B
①Hello. (こんにちは。)	②Hello. (こんにちは。)
③What subjects do you like? (何の教科が好きですか?)	④I like ~. (~が好きです。) How about you? (あなたはどう?)
⑤I like ~. (~が好きです。) Me, too. (私も)	⑥Thank you. Good bye. (See you.) (ありがとう。さようなら。)
⑦Thank you. Good bye. (See you.) (ありがとう。さようなら。)	

☆交流した友達に○をつけよう！！

ろ組

さき	みき	ゆうだい	もえ
あきひろ	しゅん	しょうへい	だいち
りさ	そうま	けんたろう	りく
りつか	みさ	りお	ゆか
なおみ	もえ	りょう	しょうたろう

い組

はやと	あかり	ゆうき	しょうた
こうせい	ゆうし	あおい	こうせい
なお	なお	ゆか	ひろゆき
みなみ	りさこ	ゆい	はやと
かんた	たかひろ	まなみ	ともや
めぐみ	ステファン	しげる	ようこ

今日、交流した友達の数

人

1 単元名 Lesson 4 「自己紹介をしよう」

2 単元の目標

- (1) 日本語には様々な英語が起源の言葉（外来語）があることに気付く。
- (2) 英語を使いながら、友達と積極的に好き嫌いを尋ねたり、答えたりする。
- (3) 英語を使いながら、自分の好き嫌いを相手に伝えたり尋ねたりする。

3 本単元について

① 主としてコミュニケーションに関すること

- ・自分の好きなものを含めて自己紹介すること。
- ・積極的に英語で好き嫌いを尋ねたり、答えたりすること。
- ・好き嫌いをはっきり言うことの大切さを知ること。

② 主として文化に関すること

- ・単語の発音の違いに気付き、英語の音声に慣れ親しむこと。
- ・自己紹介をする際のジェスチャーの違いを知ること。
- ・ALT と好き嫌いを尋ね合う中で文化の違いに対する理解を深めること。

○話題 : 自分の好きなものを含めて自己紹介をする。

○場面 : 自己紹介をする。好みを伝える。

○表現 : Do you like apples? Yes, I do. / No, I don't. What do you like? I like ~. Thank you.

○主な語彙 : apple banana pineapple strawberry bird cat dog rabbit fish ice cream juice
milk baseball skiing soccer swimming like thank do not yes no what

1 学期における英語ノートの指導計画は以下のとおりである。

月	Lesson	タイトル	時	指導内容	使用表現等
4月	1	Hello. 世界の「こんにちは」を知ろう	1	世界には様々な挨拶があることを知る。	What's your name? / My name is Ken. / Nice to meet you. 等
			2	挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	
			3	友だちと挨拶をし、作成した名刺を交換する。	
5月	2	I'm happy ジェスチャーをしよう	1	様々な感情や様子を現す語を知り、そのジェスチャーをする。	How are you? / I'm happy./ Because ~./ 等
			2	ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを交えて思いを伝える。	
			3	ジェスチャーを交えて、進んで相手に挨拶する。	
			4	感情や様子を、ジェスチャーを交えて表現し、伝える。	
6月	3	How many 数で遊ぼう	1	世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1から10までの数を言う。	How many? / Five. 等
			2	世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1から10までの数字を言う。	
			3	幾つか尋ねたり、1から20までの数で答えたりする。	
			4	数を扱ったゲームを友だちと行う。	
7月	4	I like apples 自己紹介をしよう	1	好き嫌いについて聞き取る。	Do you like apples? / Yes, I do. / No, I don't. / I like bananas. / Thank you./ What do you like? / 等
			2	自分の好き嫌いを相手に伝える。	
			3	友だちに好き嫌いを尋ねる。	
			4	自分の好きなものを含めて自己紹介する。	

4 本学級の児童について

本学級の児童は、今年度までの5年間に3人のALTによる英語活動に取り組んできた。今年度は「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」の一環で、英語活動講師の Mr. James Miller によるテキストを使った活動を行っている。それとあわせて、HRTによる「英語ノート」を使った活動も行っている。

そういった実態をふまえたうえで、本校がこれまで行ってきた英語活動講師との活動で培ってきたことを「英語ノート」を活用した指導計画に含めていくことによって、子どもたち自身がより広がりのある活動を体験できると考え、本単元の活動を計画した。そこで、外来語とそのもとになる語とを比較し、英語活動講師との活動で慣れ親しんできた英単語の発音を生かしながら、日本語と英語ではその音に違いがあることに気付くことができるようにする。また、チャンツやゲーム等で繰り返し触れる中で、英語のプロソディーを楽しんで発音ができるように活動を活性化していく。さらに、「自分の好きなもの」に加えて、英語活動講師との活動でふれたことのある「何が好きですか」という英語表現を本時の活動に加えて、互いに自己紹介をし合うことができるようにしていきたい。

5 本時の活動

- (1) 目標 1 日本語には様々な英語が起源の言葉 (外来語) があることに気付き, それらの英語の発音に慣れ親しむ。
 2 友だちと積極的に好き嫌いを尋ねたり答えたりする。
 3 英語で自分の好き嫌いを相手に伝える。
- (2) 準備 英語ノート 主な語彙とその意味を記した単語カード 基本文型を使った様々な情景を描いた絵カード
- (3) 展開 (第4時)

時間	子どもたちの活動	教師の支援
5分	1 挨拶をする。 ・指導者と児童とで, 一人一人, 挨拶をし合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Hello, how are you? / I'm fine / happy / hungry / sleepy / glad / sad / angry.</div>	○一人一人と挨拶をすることによって, 指導者と1対1でやり取りをする機会を持たせるようにする。
5分	2 【Let's Chant】 CDをかけ, 絵カードを黒板に貼り, チャンツをする。	○児童が興味を持ち続けることができるように, 児童を, 質問する側, 答える側の2グループに分け, グループでかけ合いでチャンツをさせたり, 単語を入れ替えたりして歌う。
30分 (10分)	3 【Activity2】 ○自己紹介のやり方を思い出す。 ・英語ノート P28 のシートをもとに自己紹介をすることを告げる。 指導者が自己紹介をやってみせ, そのやり方を示す。 Now, tell us what you like. What are your favorite things? I will go first. Hello, everyone. My name is ~. I like cats. I like apples. I like... What do you like? Hello, ~. My name is ~. I like baseball. I like ... Thank you.	○指導者は, スピーチをする際には, 最初に挨拶をし, 例を言って終わること, ゆっくりはっきりと, みんなに聞こえるような声の大ききさで, 聞き手の方を見て, 聞き手にわかってもらえるように話すことなどが大切であることがわかるように気をつけながらスピーチをする。
(10分)	○児童に自己紹介の練習をするように告げる。 Now it's your turn. Don't you tell me? Who wants to go first?	○相手に自分の思いをどうすれば伝わるかを児童に理解させるために, 指導者は児童の発表が終わるたびに, どの点がよかったかを具体的に言うようにする。
(10分)	○自己紹介をする。 児童の自己紹介発表についてコメントを言う。 (EX)Excellent. Your English is good. Do you like apples? I like apples, too. You spoke in a loud voice. That's very good. I like baseball, too. You did a great job.	○聞き手も話し手が気持ちよく自分の思いを語るができるようにするために, 指導者は児童の発表に対して Lesson2 を思い返しなげらうなずいたり聞いている姿勢をジェスチャーで伝えたりするように努める。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・日本語には様々な英語が起源の言葉 (外来語) があることに気付き, それらの英語の発音に慣れ親しもうとしていたか。 ・友だちと積極的に好き嫌いを尋ねたり答えたりしていたか。 ・英語で自分の好き嫌いを相手に伝えていたか。 (評価)</div>	○発表の後に, Why do you like~?と尋ねることにより, 児童に単に意見を言うだけでなく, その根拠を言うことの大切さに気付かせる。児童はこの問いに対して単語レベルで応える程度でも許容していきたい。
5分	4 挨拶をする。 ○振り返りをする。 ・児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。 ○挨拶をする。 Good bye. See you.	○次時の意欲につながるように, 具体的に児童のよかった点を評価する。

第5学年 英語活動指導案

美作市立英田小学校

1 単元名 「外来語を知ろう」(英語ノート Lesson 6)

2 単元の目標

- 身近な外来語に興味を持つ。
- 進んで英語活動に参加し、積極的に友だちとコミュニケーションを図る。
- 欲しい物を尋ねたり、注文したりする英語表現に慣れ親しむ。
- 日本語と英語の発音の違いに気付く。

3 単元計画(3時間)

時	学習内容	評価規準	言語材料 (使用するフレーズ・単語)
1	○外来語とそのもととなる語とでは、音が違うことに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で発話する。 ・英語の音に気をつけて発話する。 	Wha's this? It's ~. banana, cabbage, lemon, tomato, cake, donut, milk, soccerball, basketball, glove, gorilla, koala, kangaroo, TV, camera, calendar, piano, guitar
本 時	○相手に欲しい物を尋ねたり、自分の欲しい物を頼んだりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しい物を尋ねたり、自分の欲しい物を頼んだりする表現に慣れる。 	What do you want? ~, please. steak, soup, pudding, pizza, salad, juice, milk, cake, sushi Here you are. Thank you.
3	○相手に欲しい物を尋ねたり、自分の欲しい物を頼んだりして、フルーツパフェを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しい物を尋ねたり、自分の欲しい物を頼んだりする表現を使い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 	What do you want? ~, please. banana, apple, melon, cherry, grape, peach, kiwi, strawberry, pineapple, Here you are. Thank you. You're welcome.

4 指導上の立場

○単元について

児童はこれまでに、「世界のこんにちはを知ろう」「ジェスチャーをしよう」「数で遊ぼう」「自己紹介をしよう」「いろいろな国の衣装を知ろう」という単元を学習してきた。児童はそれらの学習を通して、いろいろな国の文化に興味を持つようになっていく。

本単元では、様々な国から来た身の回りの外来語を取り上げ、外来語とそのもとになる言葉の発音の違いに気付くことで、身近な外来語に興味を持たせたい。また、その外来語を使って、相手の欲しい物を尋ねたり、自分の欲しい物を答えたりする英語表現に慣れ親しませたい。

○児童の実態

本学級の児童は、男子11名、女子17名の計28名である。今年度から総合的な学習の時間の中で、英語ノートを活用しながらALTとともに、週一時間の英語活動を行っている。

恥ずかしさや自信のなさから、発話の音が小さくなる児童や、全体の前で発表することに抵抗を感じている児童もいる。

そこでチャンツなどを取り入れ、繰り返し発話することで自信を持たせ、ゲームを通して楽しみながら表現できるようにしていきたい。

○本時の指導について

本時の指導にあたっては、まず前時に学習した食べ物外来語を扱ったチャンツを行い、日本語とは違う発音の仕方に慣れさせる。できるだけ英語で聞いたままの発音を、真似て言えるようにしたい。

次に、本時のフレーズである「What do you want?」「~, please.」を、ALTと一緒に発音したり、CDを聞き取って英語ノートに記入したりする活動を通して、慣れ親しませる。

最後に、本時のフレーズを使って、外来語を実際に使う場面としてレストランでの注文の場面を設定する。児童は前単元の学習で、衣服の買い物体験をし、その時に、「Here you are.」「Thank you.」などの受け答えも経験している。本時も、相手を意識したコミュニケーションが積極的に図れるようにしたい。

5 本時の活動

(1) 目標

- 「What do you want?」「~, please.」の英語表現に慣れ、友だちに積極的に尋ねたり答えたりする。

(2) 準備物

- CDラジカセ, キーボード
- チャンツのCD, 英語ノートのCD
- 英語ノート p.39の拡大掲示物, 月日・曜日・天気カード
- 食べ物絵カード, 注文票
- 振り返りカード, 用箋ばさみ, ネームカード

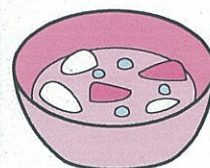
(3) 本時の展開 (第2時)

学習過程	HRTの支援	ALTの支援	・教材 ※評価
<p>1. Greetings</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分, 月日, 曜日, 天気などを答える。 Hello. I'm fine. (good等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気分, 月日, 曜日, 天気などを尋ねる。 Hello. How are you? 	<ul style="list-style-type: none"> ・月日・曜日・天気カード
<p>2. Warm-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物のチャンツをCDに合わせてする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CDに合わせて, 児童と一緒にチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気よくできるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD「バナナじゃなくて banana チャンツ」
<p>3. Aim</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを知らせ, めあてを確認する。 		
<p>相手に欲しいものを尋ねたり, 自分の欲しいものを頼んだりしよう。</p>			
<p>4. Practice</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のフレーズを聞き, チャンツの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードの操作をする。 ・児童と一緒にチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のフレーズを紹介する。 ・食べ物の種類をかえて練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボード
<p>What do you want? ~, please. steak, soup, pudding, pizza, salad, juice, milk, cake, sushi</p> <p>Here you are. Thank you.</p>			
<p>5. Activity 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CDを聞いて, 健と麻衣が注文した物を聞き取 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方の説明を児童が理解できるように補助す 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方の説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ノート p.39の拡大掲

<p>る。(英語ノート p.39)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が欲しい食べ物を答える。 ～, please. <p>6. Activity 2 (注文ゲーム) ・注文ゲームをする。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 二人が何を注文したかを確認する。 スムーズに発話できていない児童には、一緒に発音するなどして発話を助ける。 ルール説明を児童が理解できるように補助する。 ゲームのめあてを確認する。(eye contact, loud voice 等) 恥ずかしさや自信のなさから、会話に消極的な児童には、一緒に発音するなどして発話を助ける。 アイコンタクトをしながら積極的に話しかけている児童を賞賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童に欲しい食べ物を尋ねる。 What do you want? ルールの説明をする。 スムーズに発話できていない児童には、一緒に発音するなどして発話を助ける。 英語の発音に気を付けている児童を賞賛する。 	<p>示物</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語ノートのCD 食べ物カード 注文票 <p>※進んで活動に参加している。 〈行動観察〉</p> <p>※友だちの欲しい物を尋ねたり、自分の欲しい物を頼む。 〈行動観察〉</p>
<ul style="list-style-type: none"> 1つのグループが店員になり、残りのグループがお客になる。 店員は、お客グループの友だちに注文を尋ねる。 尋ねられた人は、店員に注文をする。 (英語ノート P.39の中から選ぶ。) 店員は、注文された物を注文票に書き、食べ物カードを取りに行き、戻って渡す。 店員グループを交代する。 			
<p>7. Wrap-up</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードを配る。 児童の良かった所を具体的にあげ、(eye-contact, loud voice 等) 次時への意欲を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 終わりの挨拶をする。 That's all for today. Thank you. Good-bye. See you. 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカード
<p>8. Closing</p> <ul style="list-style-type: none"> 終わりの挨拶をする。 <p>Thank you. Good-bye. See you.</p>		<ul style="list-style-type: none"> 終わりの挨拶をする。 Good-bye. See you. 	

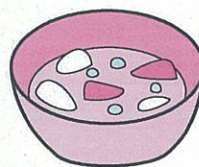
注文カード ()テーブル

1	
2	
3	
4	
5	



注文カード ()テーブル

1	
2	
3	
4	
5	



ふり返しカード

5年（ ）番（ ）

1 めあてについて

◇ 大きな声で言えましたか。

できた まあまあできた あまりできなかった できなかった

◇ 相手の顔を見ながら話すことができましたか。

できた まあまあできた あまりできなかった できなかった

2 ゲームについて

◇ まちがえずに注文がとれましたか。

できた まあまあできた あまりできなかった できなかった

◇ ほしい物が注文できましたか。

できた まあまあできた あまりできなかった できなかった

◇ 自分がかんばったり、工夫したりしたところを書きましょう。

3 友だちのよかったところを書きましょう。

1 題材名 When is your birthday? (Lesson3)

「カレンダーを作ろう」

2 目標

- 世界の祭りや日本の行事に興味を持つ。 (関心・意欲・態度)
- 英語での月の言い方や誕生日の言い方に慣れ親しむ。 (話す・聞く力)
- 積極的に友達に誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりする。(話す・聞く力)

3 児童の実態

本学級の児童(男子12名, 女子13名)は、明るく活発でどの学習においても前向きに取り組む児童が多い。一方で、集中力に欠けたり、分かっていることを恥ずかしがったりする児童もいる。

英語活動の時間は、「英語の時間が好き。」という声が多く、CIRとの会話やゲーム、歌など体を動かしながら楽しんで活動している。また、今年度初めて英語ノートを活用しており、アルファベットにも興味を示している。街には、英語の表記が溢れているため簡単なお店や施設の表示を理解している児童も多い。しかし、書くことに抵抗を感じている児童もいるため、ゆっくり時間をとって学習を進めている。

4 題材について

本題材は、いろいろな行事を通して、改めて日本の文化に触れながら、月の言い方を英語でどう言うかを知り、友達に誕生日を尋ねたり自分の誕生日を答えたりする時の英語表現(When is your birthday? My birthday is～)に慣れ親しむことをねらいとしている。

日常生活において、When～?という質問に対して答える場面は多いため、児童は興味をもって取り組むことができる題材であると考えられる。また、毎回授業の導入 Greeting time で日付の確認をしており、日付の表現は聞き慣れている。しかし、正確な発音を意識していないことが多いため、歌やゲームなど体を動かす活動やノートに書き込む活動を繰り返し行うことで発音や表現を意識しながら学習を進めたい。

5 研究主題との関連

研究主題「英語や外国の文化に親しみ、進んでコミュニケーションを図る子どもの育成」に迫るために、本題材では次の点に重点をおきたい。

四季がある日本には、季節ごとの行事が多い。第1時ではそれに関連づけて月の言い方を知り、CIRから世界の祭りや行事について話を聞くことで、日本との行事や文化の共通点や相違点に気づくことをねらいとしている。第2時では、自分の誕生月の言い方に慣れるため、ゲームを中心に活動を進める。絵カードを用意したり、個人・グループ・全体とゲームの形態に変化をもたせたりしながら興味の持続に努め、英語表現に慣れ親しませたい。第3・4時では、友達に誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりするインタビューを行う。誕生日は、誰にでもある特別な日である。英語ノートを使って同じ誕生日の友達を調べることで、一人ひとりが学習した英語表現を積極的に使いながらコミュニケーションを深めることができると考えられる。

6 活動計画 (全4時間)

時	目標	主な活動内容	評価
1	日本の季節の行事や特徴を伝え、英語での月の言い方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事と月とを結ぼう ・キーワードゲーム ・行事と国名を聞き取ろう 	月の言い方を聞き取り、単語を発音する。 (話す・聞く力)
2 本時	自分の誕生月を言う。 序数の表現を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードゲーム ・ミッシング・ゲーム ・誕生日の言い方を知ろう 	歌やゲームを通して、月の言い方に慣れ、自分の誕生月を言う。(話す・聞く力) カレンダーを使いながら序数の表現を知る。 (関心・意欲・態度)
3	誕生日を尋ねる時の英語表現を使って、友達、教師に尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子ゲーム ・名前と誕生日とを線で結ぼう 	友達、教師に進んで関わりながらゲームをしたり発表したりする。 (話す・聞く力)
4	自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字を入れよう ・誕生日をインタビューしよう 	誕生日を尋ねる時の英語表現を使って、インタビュー活動を行う。(話す・聞く力)
主な言語材料		January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 1～31の序数	
		When is your birthday?, My birthday is～	

7 本時案 (第2時)

<p>目標</p>	<p>ジェスチャーやゲームを通して、月の言い方に慣れ、自分の誕生日を答える。</p>
<p>準備物</p>	<p>英語ノート, CD, 月絵カード, 消しゴム, カレンダー, 数字カード</p>
<p>児童の活動</p>	
<p>1 歌を歌い、あいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ♪Hello song ・ Greeting time <p>2 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>H・C 一緒に歌ったり握手をしたりする事で楽しい雰囲気をつくり、心身の緊張をほぐして授業に入れるようにする。</p> <p>◎ 大きな声で歌ったり明るい表情であいさつをしたりしている児童を称揚する。</p> <p>H 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>
<p>自分の誕生日が言えるようになろう！</p>	
<p>3 前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードゲーム ・ ミッシング・ゲーム <p>4 英語ノートを活用し、自分の誕生日の言い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ When is your birthday? ・ My birthday is～ 	<p>C 月の言い方を確認しやすいように、月絵カードを見せながら大きな声でゆっくりと発音する。</p> <p>H 前回と違うペアでキーワードゲームをすることで楽しみながら、月名の定着を図る。</p> <p>H・C カードを操作しながらゲームの仕方を説明し、有志が手本を示すことで理解を深めるようにする。</p> <p>◎ 積極的にゲームに参加したり、教師の発音をよく聞いて発音したりしている児童を称揚する。</p> <p>H・C ジェスチャーを取り入れた月ごとの仲間集めゲームを通して、誕生日の答え方について詳しく理解できるようにする。</p> <p>H・C 数字と日付の違いに気づきやすくするため、カレンダーを黒板に用意し、一日ずつ復唱しながら発音を確認できるようにする。</p> <p>H・C 戸惑っている児童には、一緒に発音することで、自信をもって発表できるようにする。</p>
<p>(評) ジェスチャーやゲームを通して、月の言い方に慣れ、自分の誕生日を答える。 (話す・聞く力)</p>	
<p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感想を発表する。 ・ ♪Good-bye song 	<p>◎ 学習した英語表現を使って自分の誕生日を発表できた児童や友達の発表を認めている児童の姿を称揚する。</p>

8 考察

<単元構成の工夫>

今年度初めて利用する英語ノートの単元構成に沿って授業を進めた。本校のように1年生から英語活動を進めている場合、児童の実態に合わせた指導が必要であると感じた。本単元の目標の一つに月の言い方や誕生月の言い方に慣れ親しむということがある。英語活動の最初に日付を CIR と一緒に発音することで定着を図った。また、誕生月の言い方は既習事項である。そのため英語で月日を言うことには抵抗が少ないと考えられた。第1時では、日本の季節と行事を関連づけながら、月の言い方を繰り返し復習した。第2時からはペアを組んで積極的にコミュニケーションをとるということに重点を置いた。Greeting time やゲームでは、ペアやグループを毎回変えて意欲を持続させる工夫をした。また、大きなジェスチャーや積極的な声かけをして、コミュニケーションをとりやすい明るい雰囲気作りに努めた。第3・4時では、同じ誕生月の友達が集まって誕生月カレンダーや誕生日カードを作りプレゼントしたことで、英語活動の枠を超えたコミュニケーションの深まりを感じた。



<活動内容・学習形態の工夫>

Greeting time では、一年生から使っているあいさつ文の掲示用紙を見ながら会話をしていたため、目を見て話すという会話の基本について改めて考えさせられた。そこで、初の試みである英語ノート・CDの活用についても顔を見てコミュニケーションがとれる方法を大切にしたい。英語ノートはイラストも多く、カラフルで見やすい。しかし、英語ノートを重視しすぎると視線がノートに集中してしまい、顔を見て話す活動ができにくい。ノートの内容を拡大コピーして黒板に貼りみんなの考えを出し合ったり、キーワードカードを配ることで会話のヒントにしたりして、会話を楽しむことができるようにした。CDは音楽を取り入れた楽しい内容となっている。しかし、チャンツが短く早口で聞き取りにくい箇所があるため、CIRとの復習が欠かせなかった。CDを聞いた後には、必ず、CIRにゆっくりと繰り返してもらい、ジェスチャーなどのヒントも取り入れた。見て、聞いて、話すという基本の活動を繰り返し取り入れた。



本時の活動の工夫として、誕生月のグループ集めがあげられる。自分の誕生月と同じ友達を探すことで、一人一人の会話の目的をはっきり持たせることにつながった。同じ誕生月の友達を見つけると、歓声をあげながら次々と誕生月を増やしていき、意欲的な活動が見られた。



A: Hello!

When is your birthday?

B: My birthday is May 6th .

When is your birthday?

A: My birthday is.....

1 単元名 公園はどこですか

2 単元の目標

- (1) 英語で道案内することに興味をもつ。
- (2) 積極的に道案内しようとする。
- (3) 建物の名前や道案内の表現に慣れ親しむ。

3 新出単語 school restaurant shop bank bookstore hospital
park barbershop police box flower shop post office
fire station train station
新出ダイアログ Where is the park? Go straight. Turn right.

4 指導計画

時	主な活動	アクティビティ・ゲーム
1	ダイアログの状況設定をつかむ。 (英語ノート P. 30, 31)	道案内・カルタゲーム
2 (本時)	ダイアログの習熟練習に取り組み、慣れる。 (英語ノート P. 32, 33)	ペア対話・伝言ゲーム
3	ダイアログの定着ゲームを楽しむ。 新出単語を練習する。 (英語ノート P. 34, 35)	命令ゲーム・伝言ゲーム フラッシュカード

5 指導上の立場

(1) 児童の実態

本学級には、英語活動に意欲的に取り組み、ALTと英語で会話をすることを楽しみにしている児童が多い。また、英語を発話するアクティビティにも関心を示し、次第に大きな声で発話できるようになってきている。しかし、中には自分の発音でいいのかどうか不安を感じているため、発話の声小さくなりがちな児童もいる。そこで、新出単語の反復練習ではあまり細かい発音にこだわらず、大きな声で発話できたことをまずはしっかりほめるようにしていく。また、表情や手振り身振りも大切にして、体全体で自分の伝えたいことを表現できるように、児童に対する言葉かけも工夫していく。

(2) 研究の視点

① 英語活動に親しむための工夫

ア 体験的活動の工夫

- ・あいさつでは通常のあいさつに加えて、“How is the weather?” “How do you feel?” “What did you do last Sunday?”などをALTがたずね、1人の児童が答えた後、全員で復唱することで、日常のあいさつが長く続くようにするとともに自信のない児童も発話に慣れるようにする。
- ・英語ノートのイラストが描かれているカードを活用して対話をするアクティビティを取り入れることで、楽しみながら、しかも落ち着いて発話できるようにする。

イ ダイアログのモデルを効果的に示す状況設定の工夫

- ・ICTを活用しながら、ALTとHRTが本単元で学習するダイアログを実演して見せることで、児童が日本語での説明を聞かなくても状況を理解し、「この時間は場所をたずねる学習だな」と本時のめあてをつかむことができるようにする。

② 進んでコミュニケーションを図ろうとするための工夫

ア 次の活動への意欲を高める評価の工夫

- ・アクティビティの中で児童相互の評価を行ったり、積極的に発話している児童を称揚したりすることで、本時の活動に満足感をもつことができるようにする。また、児童の励みになるように、全体への評価よりも個別の評価をできる限り取り入れるよう心がける。

6 本時 (2 / 3)

(1) 本時の目標

- ① 方向を表す表現を使って道案内することに興味をもつ。
- ② 道案内の表現に慣れ親しむ。

(2) 本時の展開

児童の活動内容	HRTの支援	ALTの動き
1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と英語であいさつをすることで英語活動を始める雰囲気高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とあいさつをする。 ・天気や気温、日曜日の様子などをたずねる。
2 フリートークをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習ダイアログを使って自由に対話する場を設定することで英語表現に慣れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と1対1の対話をする。
3 既習単語の復習をする。 ・メモリーゲーム ・ビンゴゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・テンポよくフラッシュカードを提示することで活動に集中できるようにする。 ・ゲームを行うことで楽しく定着を図ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の単語を繰り返し発音する。
4 既習ダイアログの練習をする。 ・状況設定をつかむ。 ・習熟練習をする。 ・アクティビティをおこなう。 ・ゲームをおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用しながらALTと対話をする中で、場所をたずねているという状況場面を直感的につかむことができるようにする。 ・変化をつけながら練習を繰り返すことで、ダイアログに慣れるようにする。 ・英語ノート (P. 32, 33) のコンテンツを提示することでダイアログへの抵抗感を少なくする。 ・ペアを次々に替えて練習することで成功体験を重ねることができるようにする。 ・友達同士の協力が必要なゲームをすることで、進んでコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況設定をHRTとペアで行う。 HRT: Where is the police box? ALT: Go straight. ・口形やアクセントが分かるようにダイアログを繰り返し発音する。 ・答えた児童を Good job! Very good! Excellent! など多様な言葉で称揚する。 ・大きな声で発話している児童を称揚する。 ・分からなくて困っている児童には適宜アドバイスをする。
5 絵本を聞く。 「Panda Bear Panda Bear, What Do You See?」	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTが絵本を提示することで児童が集中して聞くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読み聞かせる。
6 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒にALTと英語であいさつをすることで次時への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とあいさつをする。
7 たしかめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と対話を行い、個別評定することで達成感をもつことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と1対1の対話をする。

(3) 評価

- ① 方向を表す表現を使って道案内することに興味をもつことができたか。
- ② 道案内の表現に慣れ親しむことができたか。

第6学年 英語活動学習指導案

総社市立昭和小学校

1 単元名 「すてきなところを紹介しよう」

2 目標

- 自分が知っていることや場所を紹介することを通して、友だちと会話を楽しむ。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 有名なものや行きたい国について尋ねたり、答えたりする。
(コミュニケーション能力)

3 主な言語教材

○ 既習事項

(単語) Japan, Canada, Australia, America, Italy, China, Korea, France, panda, kangaroo, baseball, soccer, fruits, camel, koala, park

(ダイアログ) Where are you from? I'm from ~.

○ 新出事項

(単語) Brazil, Egypt, pyramid, castle, beach, tower, mountain (Mt.)

(ダイアログ) What's ~ famous for? It's famous for ~. I want to go to ~.

4 指導計画 (本時 第2時)

時	主な活動内容	歌・ゲーム
1	岡山で有名なものを尋ねたり、答えたりする。 What's Okayama famous for? It's famous for ~.	♪ Sing I want to go to Italy. ◇メモリーラインゲーム カードチェンジゲーム
2	出身地とそこで有名なものを尋ねたり、答えたりする。 Where are you from? I'm from ~. What's Japan famous for? It's famous for ~.	♪ Sing I want to go to Italy. ◇ビンゴゲーム インタビューゲーム
3	行きたい国やそこで有名なものを話す。 I want to go to ~. What's ~ famous for? It's famous for ~.	♪ Sing I want to go to Italy. ◇聞き取りゲーム ビンゴゲーム
4	インタビューゲームを楽しむ。	♪ Sing I want to go to Italy. ◇インタビューゲーム

5 指導に当たって

○ 児童の実態から

本学級の児童は、英語活動に興味をもち友達やALTとの会話を楽しみにしている。また、修学旅行で外国の方々と話をするのができたという経験は児童にとって大きな自信となっている。しかし、英単語や対話文の練習になると覚えることに時間がかかるし、自信がもてないということから消極的な児童もいる。そこで、英語ノートを使い自分の絵カードを手に取りながら練習をし、楽しみながら英語活動ができるようにする。また、友達との会話を楽しめるようにインタビューゲームを取り入れることで、高学年のめざす「習った英語を使って、意欲的に会話しようとする子ども」像に迫りたい。

○ 研究の視点から

・ アクティビティの工夫

英語表現を覚えやすくするために、英語ノートにある絵カードを使って声を出しながらビンゴゲームをする。また、インタビューゲームを取り入れることにより、児童ができるだけ多くの友達と会話する楽しさを味わえるようにする。

・ 評価の工夫

振り返りの時間を確保し、カードで自己評価をして本時の目標が達成できたかどうか振り返る。さらに、教室を出る時に、ALTやHRTと本時の言語教材を使った会話をするすることで、児童の理解度を把握したり次時の授業作りに生かしたりする。

6 本時案 (第2時)

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出身地や有名なものを伝え合う表現を使って、友達と楽しく話す。 ○ 出身地とそこで有名なものを尋ねたり、答えたりする。
学 習 活 動	HRT・ALT の 支 援 と 評 価
1 あいさつをする。 2 歌を歌う。 3 復習をする。 4 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語であいさつをすることで児童の気持ちを切り替え、英語活動が始まる雰囲気をつくる。 ・ 大きな声で Sing やチャンツの I want to go to Italy を歌い、楽しい雰囲気英語活動を始める。 ・ ALT と一緒に前時に学習した、What's Okayama famous for? It's famous for ~.の練習を繰り返すことで、英語表現に慣れるようにする。 ・ ALT と HRT の会話を聞いて、本時のめあてをつかむことができるようにする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> どこの出身? そこでは有名なものは? </div>
5 練習をする。 6 アクティビティをする。 ・ ビンゴゲーム ・ インタビューゲーム 7 学習を振り返る。 8 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国名の Brazil, Egypt や英語ノートにある pyramid, castle, beach tower, mountain は新出の単語なので、ALT の口元をよく見て発音するように声をかける。 ・ 各自が自信をもって言えるように、全体やグループなど練習方法を工夫する。 ・ デモンストレーションを行うことで、活動の内容を分かりやすくする。 ・ ALT と一緒に声を出しながら、英語ノート Lesson6 ③のますの上に好きなカードを置いてから、ビンゴゲームをする。 ・ 表に国旗と有名なものが描いてあるカードを一人3枚ずつ持つ。出会った友達に引いてもらい、そのカードにかかっている国が出身地という状況で会話を楽しむことができるようにする。 ・ カードは種類を変えて用意し、いろいろな人と違った会話ができるようにする。(1) (2) ・ 積極的に友達と会話している児童を称揚することで、児童のやる気を高める。 ・ 友達と関わりにくい児童がいるので、担任との会話で自信がもてるように支援したい。 ・ 振り返りカードに記入することで、本時の目標が達成できたかどうかを振り返る。(1) (2) ・ めあてを意識して積極的に活動していた児童を称揚することにより、達成感を味わえるようにしたい。 ・ 笑顔であいさつをして、楽しい雰囲気終わるようにする。 ・ 出口で ALT や HRT が Where are you from? What's ~ famous for? と尋ね、答えてから帰るようにすることで児童の理解度を把握する。(2)
評 価	(1) 出身地や有名なものを伝え合う表現を使って、友達と楽しく話すことができたか。 (2) 出身地とそこで有名なものを尋ねたり、答えたりすることができたか。

1 単元 できることを紹介しよう

- 2 目標
- ショー・アンド・テルで発表することに興味を持つ。
 - 友だちの発表を積極的に聞き、何ができ何ができないかを理解しようとする。
 - 積極的に友だちに「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。
 - 「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。

3 指導・評価計画 全4時間 (○は本時)

時数	学習内容	評価規準	言語材料
1	相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解しようとする。	まとまった話を聞いて、誰がどんなことができるのかを聞き取ろうとする。	Can you swim? Yes, I can. /No, I can't. I can swim. I can't swim.
②	友だちと互いにどのようなことができるかを尋ねたり、答えたりする。	あることができるかを尋ねたり、答えたりする。	Can you ~? Yes, I can. /No, I can't. play soccer, make an omelet, play the piano, play kendama, swim, play table tennis, play the guitar, ride a unicycle
3	自分ができることを発表するための準備をする。	友だちがわかりやすいように、自分ができることやできないことを絵などで表現する。	Can you ~? Yes, I can. /No, I can't.
4	自分ができることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。	自分ができることやできないことを発表する。 相手ができることやできないことを聞いてわかる。	Hello. I can ~. / I can't ~.

4 指導上の立場

(1) 単元について

本学級の児童は、前期に行った英語活動では英語ノートを用いて、「自分の一日を紹介しよう」を学習した。ほとんどの児童が、自分の一日を英語で紹介したり、友だちの一日の生活を英語で聞いたりでき、より深くお互いを知り合うことができた。そこで、次の段階として友だちの「できること」や「できないこと」を尋ね合うなどの交流を行うことで、さらにより深くお互いを知り合うことができると考え、この活動を設定した。

児童は学校生活において、ほとんど同じような生活を送っている。しかし、これ

は、ややもすると、「まわりはみな同じ」という感覚に陥りかねない。しかし、一人一人はいろいろな面で違っている。人によって、できることもあればできないこともある。そこで本単元では、“can”を使って自分を表現するとともに、友だちの発表を聞いて、改めてその友だちのことを見直すきっかけとしたい。新たな視点で友だちを見ることで、さらに仲が深まると考える。

本時は、初めて出てくる“Can you ~?”という尋ね方に対し、“Yes, I can. /No, I can't.”という答え方の表現に慣れていく。また、「できる」「できない」は主観的なところも大いにあるので、「少しでもできたら、できるでいいんだよ」などという児童への声かけを行い、児童を認める場面を増やし、自己肯定感が低くならないように配慮したい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は23名(男子12名、女子11名)である。英語の活動については、子供達は非常に楽しみにしている。全体でする活動においては、みんな元気よく取り組む。しかしながら、全体の前で発表(話)をすることに対しては、恥ずかしさや自信の無さから抵抗がある児童もいる。また、英語活動に苦手意識を持っている児童も見られる。

本年度に入ってから、ALTによる英語活動において行った学習では、アルファベットを用いて文字でコミュニケーションを図る楽しさを体験することができた。ALTに対して、自分から積極的に話しかけにいたり、給食を一緒に食べたりして、触れ合いを楽しんでいる児童が多い。また、自分の一日の生活を、生活表を作成して、友達に紹介することができた。恥ずかしくてなかなか話ができなかった児童も、「全体→グループ→ペア→個人」と段階を追って活動を進めた結果、少しずつではあるが自信を持って言えるようになってきた。

そこで本単元では、ALTと連携する中で、何度も繰り返し発音したり、ゲームを取り入れたりすることで、意欲的に自分の「できること」「できないこと」を英語で表現できるようにしたい。また、ペア・グループ・全体と徐々に活動範囲を広げることで、自信を持って表現できるようにしたい。

(3) 研究主題との関連

研究主題：いろいろな考えを知り、思いを伝え合おうとする子供の育成
～英語活動や国際理解活動を通して～

本単元では、「できる」「できない」という表現に注目させて話を聞いたり、英語を用いて「できる」「できない」を使った自己紹介活動を行ったりする。また、子供達のコミュニケーション力を育てるために、一人一人の発話数を増やしたり、子供同士のかかわりが増えたりするよう小人数グループでの活動を設定する。

学習した動作の表現の言い方を、友だちへのインタビューや先生への質問、チャットを通して、友だちや先生から英語で「できること」「できないこと」を聞いたり、自分の「できること」「できないこと」を話したりする機会を増やす。そうすることで理解を深め、自信を持って話すことができるようになると思う。また、コミュニケーション能力を育む時間として、違いを知り、その違いを認め合える人間関係を築く時間としていきたい。そして、canという言葉を使いながら、自己肯定感や仲間内で存在を認め合うことができると思う。これらの話す・聞く活動を通して、英語の言葉をたくさん話すことができたという成就感を味わわせることで、研究主題に近づくことができると思う。

5 本時案 (第2時)

学習目標	友だちと互いにどのようなことができるかを尋ねたり、答えたりする。			
学習過程	児童の活動	教師の支援		評価
		T1 (HRT)	T2 (外部講師)	
ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ Hello. I'm fine (sleepy). 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体にあいさつをした後、クラス半分の児童全員とあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体にあいさつをした後、クラス半分の児童全員とあいさつをする。 	
	Take me out to the ball game を歌おう。			
	<ul style="list-style-type: none"> CDに合わせて歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きい声で歌い、児童と楽しく歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きい声で歌い、楽しい雰囲気づくりをする。 	
ふれる	2人の会話を聞き取ろう。			
	<ul style="list-style-type: none"> 指導者のできること、できないことを聞く。 ALTのせりふを聞いて、英語ノート p. 25の吹き出しの中の絵を○で囲む。 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵カードやコスチュームを使って、できるかできないかをT2と尋ね合う。 ○聞き取りにくそうにしている児童に寄り添い、YesとNoをしっかり聞くように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵カードやコスチュームを使って、できるかできないかをT1と尋ね合う。 ○2人の会話を英語で話す。初めはゆっくり発音する。 ○聞き取りやすいように、ゆっくり発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■意欲的に2人の会話を聞き取ろうとしている。
慣れる	YES / NO コーナー			
	<ul style="list-style-type: none"> できるかできないかの尋ね方や答え方を練習する。 質問に対して、教室内にあるYesコーナーかNoコーナーに移動し、会話の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○はじめは全体で質問と答え方の練習をする。 ○活動の方法を知らせるためにT2とモデルになり実際に活動をする。 ○代表の児童が質問し、他の児童にできるかできないかを考えさせ、各コーナーに移動するよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の方法を知らせるためにT1とモデルになり実際に活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■積極的に質問に対して答えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・コーナーごとに声を合わせて、Yes, I can do it. /No, I can't do it. と答える。 		<ul style="list-style-type: none"> ○代表児童が言いやすいように、一緒に質問する。 	
使う	友だちにインタビューをしよう。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語ノートp. 27の9つの絵のことができるかを友だちに尋ね、できると答えた友だちの名前を () の中に書く。 ・ALTにできるか、できないかを尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○T 2 の説明の補足をする。 ○インタビューの方法の説明を、T 2 との会話で知らせる。 ○児童の様子を見て回り、言いにくそうにしている児童がいた場合、その児童のそばに寄り添い、一緒に質問をしたり答えたりする。 ○英語での表現がわからない児童がいればジェスチャーでもいいことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の説明を聞きやすいようにゆっくりとした英語で話す。 ○インタビューの方法の説明を、T 1 との会話で知らせる。 ○児童の様子を観察し、言いにくそうにしている児童には、そばに寄り添って一緒に尋ねたり答えたりする。 ○児童の質問にゆっくりとした英語で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ■できるかできないかを尋ねたり、答えたりする。
振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・振り返りカードに書き込む。 ・あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次時の意欲につながるように、具体的に児童の良かったところを評価する。 ○全体のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の英語について良かったところを伝える。 	

6 言語材料

Can you ~? Yes, I can. /No, I can't.
 play soccer, make an omelet, play the piano, play kendama, swim,
 play table tennis, play the guitar, ride a unicycle

7 教材・教具

英語ノート 絵カード CD 振り返りカード
 バット・ボール サッカーボール ゴーグル 卓球のラケット・ピンポン玉
 一輪車 けん玉 ギター フライパン

ふり返りカード

6年生 ()

*学習をふり返って○をつけましょう。

1 今日の英語のめあてが守れましたか。

☆しっかり声を出して活動できましたか。

できた まあまあできた できなかった

☆友達や先生と、目と目を合わせて活動できましたか。

できた まあまあできた できなかった

2 友達へのインタビューを楽しくできましたか。

できた まあまあできた できなかった

3 友達のよかったところを書きましょう。